

事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

一般会計

事務事業番号	事業名			担当部署	事業の評価	ページ
	款	項	目			
	土木費	土木管理費	土木総務費			
08010101	土木車両整備事業			維持課	A	331
	土木費	土木管理費	建築指導費			
08010201	マイホーム建設促進特例融資事業			都市建設部総務課	B	332
08010202	住宅耐震・リフォーム支援事業			建築指導課	B	333
08010203	住宅リフォーム促進事業			建築指導課	A	334
	土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう維持費			
08020101	雪氷対策費			維持課	A	335
	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費			
08020201	社会資本整備総合交付金事業(道路整備事業)			維持課	A	336
08020202	単独道路舗装事業			道路建設課	A	337
08020203	単独道路新設改良費			維持課	A	338
08020204	特定防衛施設周辺調整交付金事業			維持課	A	339
08020205	単独道路交通安全対策事業			学校教育課、道路建設課	A	340
08020206	再編関連訓練移転等交付金事業(道路整備事業)			道路建設課	A	341
08020207	道路メンテナンス補助事業			道路建設課	A	342
	土木費	河川費	河川改良費			
08030201	単独事業(河川整備事業)			維持課	A	343
08030202	空港周辺環境対策事業(河川整備事業)			維持課	A	344
	土木費	都市計画費	都市計画総務費			
08040101	地籍調査事業			開発管理課	A	345
	土木費	都市計画費	公園維持費			
08040201	オートリゾートセンターハウス・温浴施設等補償金			緑地公園課	A	346
08040202	公園施設補償金			緑地公園課	A	347
08040203	オートリゾートセンターハウス・温浴施設等電気料高騰支援補償金			緑地公園課	A	348
08040204	公園施設電気料金高騰支援補償金			緑地公園課	A	349
	土木費	都市計画費	公園整備費			
08040301	社会資本整備総合交付金事業(公園整備事業)			緑地公園課	A	350
08040302	単独事業(公園整備事業)			緑地公園課	A	351
08040303	空港周辺環境対策事業(公園整備事業)			緑地公園課	A	352
08040304	再編関連訓練移転等交付金事業(公園整備事業)			緑地公園課	A	353
	土木費	都市計画費	緑化推進費			
08040401	森林整備事業			緑地公園課	A	354
08040402	緑の基本計画事業			緑地公園課	A	355
08040403	市有林整備事業			緑地公園課	A	356
08040404	緑化推進基金積立金			緑地公園課	A	357
08040405	森林環境譲与税基金積立金			緑地公園課	A	358
08040406	森林経営管理事業			緑地公園課	A	359
08040407	全国都市緑化北海道フェア事業			緑地公園課	A	360
	土木費	市営住宅費	住宅管理費			
08050101	集会所電気料金高騰支援補償金			住宅課	A	361
	土木費	市営住宅費	住宅建設費			
08050201	住宅建設事業【継続事業】			住宅課	A	362
08050202	住宅改善事業			住宅課	A	363
08050203	熱供給設備等改修事業			住宅課	B	364
08050204	日新団地熱源改修事業			住宅課	A	365

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 01土木総務費

事務事業番号 08010101

事業名		土木車両整備事業		担当部署	都市建設部 維持課				
根拠法令		道路法							
令和4年度決算額	22,494	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	22,000	千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	494	千円						
事業費（総計）	24,643	千円							
決算額	22,494	千円							
人件費	2,149	千円							
事業の目的	凍結防止剤散布車（平成11年度登録）の老朽化に伴う更新です。								
事業の内容	凍結防止剤散布車の更新								
SDGs17の目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【正面】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【側面】</p> </div> </div>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	土木車両の更新		台	1	1	2			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							凍結防止剤散布車は、道路に凍結防止剤を散布する車両であり、円滑な冬期道路交通を確保し、市民の暮らしを守るために必要であり、市民の安全・安心な生活に大きく寄与しているため、「4」としました。
	効率性	●							老朽化した土木車両の更新を図ることで、維持管理費の抑制及び車両の安全性が向上することができたため、「4」としました。
	公平性	●							凍結防止剤散布車を更新することにより、凍結防止剤散布車の台数確保をすることができ、市民への公平性が保たれているため、「4」としました。
将来性	●				市民の安全・安心な生活を守るためには、土木車両整備は必要不可欠であり、今後も継続して実施していく必要があるため、「4」としました。				
総合評価	A			評価項目のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できています。今後も、市所有の土木車両整備を引き続き行い、安定的な道路維持が遂行され、市民の安全・安心な生活を守るよう整備を進めてまいります。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010201

事業名		マイホーム建設促進特例融資事業		担当部署	都市建設部 総務課												
根拠法令																	
令和4年度決算額		16,600	千円	項目評価													
財源内訳	国道支出金		千円														
	地方債		千円														
	その他	16,600	千円														
	一般財源		千円														
事業費（総計）	16,672	千円															
決算額	16,600	千円															
人件費	72	千円															
事業の目的		<p>国の景気浮揚策に連動した経済活性化対策の一環として、市民の持ち家建設を促進し、住環境と福祉の向上を図るため、市内金融機関の協力を得て平成11年から13年にかけて実施した事業です。</p>															
事業の内容		<p>融資の受付は既に終了しましたが、市民に融資を行った金融機関に対する預託事業は継続しています。</p> <p>事業の内容は、金融機関の貸付残高に協調倍率（市の預託金と金融機関資金の割合）を乗じた金額を4月に預託、以後、毎月の返済額に応じて預託金の追加又は戻入を行い、年度末に預託金を全額返還させるというものです。</p> <p>また、年度当初の協調倍率は1月末時点の長期プライムレートにより決定しますが、7月末時点のレートに当初比で±0.3%以上の増減があった場合は、10月に協調倍率を変更し、預託金の調整を行います。</p> <p>令和5年3月報告に基づく金融機関融資状況と令和4年度預託実績</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>金融機関</th> <th>融資件数</th> <th>貸付残額 (千円)</th> <th>協調倍率 (市：金融機関)</th> <th>預託額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苫小牧信用金庫 ほか7行</td> <td>215</td> <td>522,845</td> <td>1 : 29.7</td> <td>16,600</td> </tr> </tbody> </table>						金融機関	融資件数	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)	苫小牧信用金庫 ほか7行	215	522,845	1 : 29.7	16,600
金融機関	融資件数	貸付残額 (千円)	協調倍率 (市：金融機関)	預託額 (千円)													
苫小牧信用金庫 ほか7行	215	522,845	1 : 29.7	16,600													
SDGs17の目標																	
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度										
		預託額（決算額）		千円	16,600	22,800	14,900										
項目評価		高 → 低		評価の理由													
		4	3	2	1												
有効性		●				約1,200件の利用があり、市民の持ち家建設の促進が図られました。また、融資を行う金融機関の負担軽減に必要な事業であることから、「4」としました。											
効率性			●			預託金は全額戻入されるため市の財政的な負担はほとんどありません。一方、融資の償還期限まで預託を行うため、事務処理が長期に亘ることから、「3」としました。											
公平性				●		対象が本事業を利用して融資を受けた市民に限定されることから、「2」としました。											
将来性		●				預託が終了する令和19年度まで事業を継続する必要があることから、「4」としました。											
総合評価		B		市民に融資を行った金融機関の負担軽減のため、今後も必要な事業です。													
特記事項		当初、融資の返済期限は最長で25年でしたが、金融円滑化法の施行に伴い11件で返済期間の延長が行われ、現在は最長で令和19年までとなっています。															

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

目 02建築指導費

事務事業番号 08010202

事業名		住宅耐震・リフォーム支援事業		担当部署	都市建設部 建築指導課						
根拠法令											
令和4年度決算額		21	千円	項目評価				総合評価 B			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	21	千円								
事業費（総計）		93	千円								
決算額		21	千円								
人件費		72	千円								
事業の目的		この事業は、平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用して金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を利子補給金として補助することを目的とします。									
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>平成21年度から平成23年度に実施した事業で、住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助する事業です。（融資限度額650万円（耐震改修を行わない場合500万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		住宅耐震・リフォーム支援事業の利子補給件数			件	3	24	51			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して利子補給を行うために必要な事業であることから、「4」としました。		
効率性			●						この事業では、3年間で約5億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約2,800万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。		
公平性				●					平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民のみが対象となっていることから、「2」としました。		
将来性		●				市の利子補給が終了する予定である令和8年度まで事業を継続する必要があることから、「4」としました。					
総合評価		B				平成21年度から平成23年度に実施した住宅リフォーム支援事業を利用した市民に対して、利子補給を行うために今後も必要な事業です。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 01土木管理費

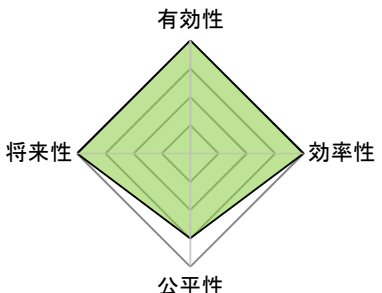

目 02建築指導費

事務事業番号 08010203

事業名		住宅リフォーム促進事業		担当部署	都市建設部 建築指導課			
根拠法令								
令和4年度決算額		11,580	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	11,580	千円					
事業費（総計）		12,296	千円					
決算額		11,580	千円					
人件費		716	千円					
事業の目的		住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民が快適な住生活を営むための住宅リフォームを支援することを目的とし、木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、木造住宅の耐震改修等の費用の負担を軽減し、耐震化を促進すること目的としています。						
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 住宅耐震・リフォーム支援事業 住宅の改良に必要な資金を金融機関から融資を受けた市民に対し、その利子の一部を苫小牧市が利子補給金として補助します。（融資限度額650万円（耐震改修を行わない場合500万円）で金融機関金利のうち1.5%を上限に市が負担します。）</p> <p>2 木造住宅耐震改修等補助金交付事業 耐震診断や耐震改修工事の負担を軽減し、住宅の耐震化を促進するための費用の一部を補助金として助成します。（耐震診断又は耐震設計を行う場合は10万円を上限に、耐震改修を行う場合は60万円を上限に市が補助します。）</p>						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
		住宅耐震・リフォーム支援事業の利用件数			件	91	89	91
		木造住宅耐震改修等補助金交付事業の利用件数			件	0	0	0
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、令和4年度も予定する融資工事額に達している。市民及び市内リフォーム請負業者において広く求められる事業であることから、「4」としました。		
効率性			●			令和4年度の事業では、約2億円のリフォーム工事が実施され、これに対する市の利子負担見込額は約1,200万円と費用対効果が大きい事業となっていますが、市の利子補給期間が長期に渡ることから、「3」としました。		
公平性		●				融資を必要とし申込要件を満たす市民の全てを受け付けることができ、また、事業施工者へ多大な波及効果も見込めることから、「4」としました。		
将来性		●				住宅を耐震化又はリフォームすることにより、安全で快適に住み続けられる住宅を整備することは、良質なストック形成と流通促進に資するものであることから、「4」としました。		
総合評価		A				住宅耐震・リフォーム支援事業は、市民に浸透した事業であり、地域経済への波及効果も大きいことから、今後も事業を実施していきたいと考えています。 木造住宅耐震改修等補助金交付事業は、住宅の耐震改修等の促進を図るために必要な事業であることから、今後も事業を実施していきたいと考えています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費 項 02道路橋りょう費 目 01道路橋りょう維持費 事務事業番号 08020101

事業名		雪氷対策費		担当部署	都市建設部 維持課						
根拠法令		道路法									
令和4年度決算額	357,917	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	7,000	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	350,917	千円								
事業費（総計）	375,228	千円									
決算額	357,917	千円									
人件費	17,311	千円									
事業の目的	除雪や路面凍結等に伴う渋滞、スリップ、歩行困難などの交通障害を解消し、安全で快適な交通機能確保するため、車道及び歩道の除雪や凍結防止剤散布を行うものです。										
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p>  <ol style="list-style-type: none"> 凍結防止剤等の購入 車道や歩道の凍結路面対策として、凍結防止剤やすべり止め砂の購入をしました。 除雪作業業務 積雪量、雪質、路面状況、気象予報などの情報収集を行い、積雪量10cm以上を目安として除雪作業を行いました。 除雪車運行管理システム保守 除雪車運行管理システムを活用し、除雪作業状況の把握をし、市民からの除雪作業状況に関する問合せに対し、速やかに情報提供を行えたほか、作業が遅れている地域への除雪協力の要請を行い、作業時間の短縮を行いました。 										
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度				
	除雪作業			回	31	47	16				
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							市民の冬の暮らしを守るため、除雪作業は欠かすことができないため、「4」としました。		
	効率性	●							除雪車運行管理システムを活用し、作業が遅れている地域への除雪車の追加配置を行うなど、効率的な除雪作業を行い、作業時間の短縮を図っているため、「4」としました。		
	公平性		●						道路パトロールにより路面状況の把握のほか、気象予報などの情報収集により除雪作業を行っていることから「3」としました。		
将来性	●				除雪作業は冬期の安全で快適な交通機能確保のため、重要であることから「4」としました。						
総合評価	A				評価項目のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できています。この事業は市民生活に直結する重要な事業であるため、近年頻発している大雪に備え、除雪機械の台数確保や配置見直しなど、体制の強化に取り組んでまいります。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020201

事業名		社会資本整備総合交付金事業（道路整備事業）		担当部署	都市建設部 維持課						
根拠法令											
令和4年度決算額		55,367	千円	項目評価		総合評価 A					
財源内訳	国道支出金	29,931	千円								
	地方債	14,100	千円								
	その他		千円								
	一般財源	11,336	千円								
事業費（総計）		62,529	千円								
決算額		55,367	千円								
人件費		7,162	千円								
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安全な道路交通網を確保します。</p>									
事業の内容		<p>【舗装修繕】 老朽化した舗装の修繕を実施しました。</p> <p>(着工前)  (完成) </p> <p>【道路附属物点検】 道路照明の点検を実施しました。</p> <p>  </p>									
SDGs17の目標		 									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		道路の改築・修繕			路線(km)	1(0.2)	3(0.8)	5(1.5)			
		道路附属物点検			基	248	124	207			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							老朽化が進む道路施設を計画的に改築・修繕を行うことで安全で円滑な道路交通を確保することができることから「4」としました。		
効率性			●						道路を維持するには高額な事業費が必用となるため、整備効果と経済的なバランスを図り、効率的な事業推進に取り組んでいることから「3」としました。		
公平性		●							幹線に位置付けられる道路は公共性が高く、市民の生活や経済活動に欠かせない重要な公共施設であり、市民に限らず多くの人に利用されることから「4」としました。		
将来性		●				本事業は、市民の安全・安心に直結し、その効果は長期にわたり持続されることから「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020202

事業名		単独道路舗装事業		担当部署	都市建設部 道路建設課																																		
根拠法令		道路法、苫小牧市道路の構造の技術的基準に関する条例																																					
令和4年度決算額		570,098	千円	項目評価																																			
財源内訳	国道支出金		千円																																				
	地方債	510,400	千円																																				
	その他		千円																																				
	一般財源	59,698	千円																																				
事業費（総計）		616,336	千円																																				
決算額		570,098	千円																																				
人件費		46,238	千円																																				
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら、主に生活道路における未舗装道路を対象に、安全・安心な道路交通網を確保します。</p>																																					
事業の内容		<p>未舗装道路の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路を整備しました。</p>																																					
SDGs17の目標																																							
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未舗装道路の整備</td> <td>路線</td> <td>27路線(4.0km)</td> <td>32路線(4.0km)</td> <td>36路線(3.7km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度	未舗装道路の整備	路線	27路線(4.0km)	32路線(4.0km)	36路線(3.7km)																								
指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度																																			
未舗装道路の整備	路線	27路線(4.0km)	32路線(4.0km)	36路線(3.7km)																																			
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>未舗装道路を計画的に整備することにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。</td> </tr> </tbody> </table>					高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				未舗装道路を計画的に整備することにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。	効率性		●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。	公平性	●				まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから「4」としました。	将来性	●				本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。
	高 → 低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性	●				未舗装道路を計画的に整備することにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。																																		
効率性		●			より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。																																		
公平性	●				まちかどミーティングなどの地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから「4」としました。																																		
将来性	●				本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。																																		
総合評価		<p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>				<p>項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、まちかどミーティングなど地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に整備を進めてまいります。</p>																																	
特記事項																																							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020203

事業名		単独道路新設改良費		担当部署	都市建設部 維持課			
根拠法令								
令和4年度決算額		605,585	千円	項目評価				
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債	443,900	千円					
	その他		千円					
	一般財源	161,685	千円					
事業費（総計）		623,490	千円					
決算額		605,585	千円					
人件費		17,905	千円	総合評価	A			
事業の目的								
社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮し、老朽化が進む道路などの健全度を把握しながら、改築・修繕を行い安全・安心な交通道路網を確保します。								
事業の内容								
SDGs17の目標								
1 区画線標示業務 : 磨耗・剥離した区画線の再標示 2 アスファルト舗装補修業務 : 路面に生じた穴などの損傷をパッチングにより部分的に補修 3 道路清掃業務 : 人力による歩道や中央分離帯等の清掃 4 道路施設補修業務 : 雨水桝の設置、縁石等道路付属物の補修・改良 5 舗装道路改修工事 : 舗装、縁石などの老朽化した道路施設を全面的に改修 6 舗装道路修繕工事 : 老朽化した舗装の表層部を全面的に修繕 7 道路附属物修繕工事 : 自立式道路照明灯の更新 8 街路灯LED化改修工事 : 水銀灯やナトリウム灯の街路灯をLED照明に改修 9 調査・設計業務 : 地質調査、路面調査（非破壊）、設計業務								
実施結果（活動指標）								
		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度	
		老朽化した舗装道路の改修		km	6	7	8	
項目評価								
		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●						老朽化が進む道路施設を計画的に改築・修繕を行うことで安全で円滑な道路交通を確保することができることから「4」としました。
効率性			●					道路を維持するには高額な事業費が必用となるため、整備効果と経済的なバランスを図り、効率的な事業推進に取り組んでいることから「3」としました。
公平性		●						生活道路は市民の生活に密着する公共施設であり、地域住民に必要とされる施設でことから「4」としました。
将来性		●				本事業は、市民の安全・安心に直結し、その効果は長期にわたり持続されることから「4」としました。		
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。		
特記事項								




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020204

事業名		特定防衛施設周辺調整交付金事業		担当部署	都市建設部 維持課		
根拠法令							
令和4年度決算額		25,069	千円	項目評価		総合評価 A	
財源内訳	国道支出金	23,900	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	1,169	千円				
事業費（総計）		28,650	千円				
決算額		25,069	千円				
人件費		3,581	千円				
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。</p>					
事業の内容		<p>【防雪柵設置】 風雪による視程障害や吹きだまりにより、通行が困難になる道路に防雪柵を設置しました。</p> <p>（設置前）  →  （設置効果） </p> <p>【実施設計業務】 老朽化した幹線道路の整備に必要な調査及び設計図書の作成を行いました。</p>					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		防雪柵（令和4年度までの累計 L=1070m）		m	40	60	50
		勇払川西通実施設計業務		式	1	-	-
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				風雪による視程障害や吹きだまりを防止し、安全で円滑な交通を確保することができることから「4」としました。	
効率性		●				整備効果は大きく、効率的な事業推進に取り組んでいることから「4」としました。	
公平性			●			事業の対象地区が郊外で一部の地域に限定されていることから、「3」としました。	
将来性		●				本事業は、市民の安全・安心に直結し、今後も継続する必要があるため「4」としました。	
総合評価		A		項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業が展開できており、本事業を進めることが市民サービスに直結することから、効率的かつ効果的な事業展開を進めてまいりたいと考えています。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020205

事業名		単独道路交通安全対策事業		担当部署	教育部 学校教育課、都市建設部 道路建設課						
根拠法令		道路法									
令和4年度決算額		59,609	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債	53,400	千円								
	その他		千円								
	一般財源	6,209	千円								
事業費（総計）		68,920	千円	総合評価	A						
決算額		59,609	千円								
人件費		9,311	千円								
事業の目的		平成26年度から平成30年度において、小学校周辺道路における交通安全対策を実施し、効果検証から、対策は有効な取組であったが、主として学校周辺のための整備であったことから、今後は対象範囲を小学校指定通学路全体へ拡大し、更なる交通安全対策の取組を強化していく必要があります。									
事業の内容		小学校指定通学路の交通安全対策 車両速度抑制対策や防護柵設置などを実施しました。									
SDGs17の目標											
		【整備前】		【整備後】							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		小学校指定通学路の交通安全対策			校	5	3	3			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							車両速度抑制対策をはじめとする交通安全対策を実施することにより、通学路の安全・安心な通行が確保できることから「4」としました。		
効率性			●						より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。		
公平性		●							通学路を通行する児童のみならず、沿線住民など歩行者全体の安全・安心な通行が確保できることから「4」としました。		
将来性		●				本事業は、歩行者の安全・安心な通行を確保する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、通学路の交通安全対策として非常に有効であることから、今後も引き続き、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020206

事業名		再編関連訓練移転等交付金事業（道路整備事業）		担当部署	都市建設部 道路建設課				
根拠法令		道路法							
令和4年度決算額	41,299	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	38,700	千円						
	地方債	500	千円						
	その他		千円						
	一般財源	2,099	千円						
事業費（総計）	46,312	千円							
決算額	41,299	千円							
人件費	5,013	千円							
事業の目的	<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や、新たな利用ニーズに配慮しながら促進します。</p>								
事業の内容	<p>未舗装道路の舗装整備 路面状態が悪く、雨水処理されていない未舗装道路を整備しました。</p>								
SDGs17の目標	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> </div>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							未舗装道路を計画的に整備することにより、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。
	効率性		●						より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。
	公平性	●							地域要望をもとに、現地確認など整備路線の検討を十分に行っていることから「4」としました。
将来性	●				未舗装道路の整備は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。				
総合評価	A			<p>項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、地域住民から特に要望の多い事業であるため、社会情勢の変化や利用ニーズに配慮しながら、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。</p>					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 02道路橋りょう費

目 02道路新設改良費

事務事業番号 08020207

事業名		道路メンテナンス補助事業		担当部署	都市建設部 道路建設課						
根拠法令		道路法									
令和4年度決算額		412,345	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金	237,972	千円								
	地方債	141,600	千円								
	その他		千円								
	一般財源	32,773	千円								
事業費（総計）		441,953	千円								
決算額		412,345	千円								
人件費		29,608	千円								
事業の目的		<p>快適で潤いのある都市生活と活発な社会・経済活動に欠かすことのできない道路交通網の整備を、高齢者の増加など社会情勢の変化や、新たな利用ニーズに配慮しながら促進するほか、老朽化が進む橋梁の健全度を把握しながら、効率的・計画的な改築・修繕を行い、安全・安心な道路交通網を確保します。</p>									
事業の内容		<p>橋梁長寿命化 事後対応型の管理から予防保全型の管理へ転換することで、架け替えなどにかかるライフサイクルコストの縮減を図りました。</p>									
SDGs17の目標											
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		橋梁長寿命化・耐震補強			橋	1	3	2			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							老朽化が進む橋梁を計画的に改築・修繕を行うことで、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。		
効率性			●						より経済的な整備方法を検討し事業実施することで、将来にわたり整備効果が得られることから「3」としました。		
公平性		●							すべての利用者にとって、安全・安心な道路交通網が確保できることから「4」としました。		
将来性		●				本事業は、市民の安全・安心に直結する重要なものであり、今後も継続して実施していく必要があることから「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業が展開できています。本事業は、市民の安全・安心な道路交通網を確保する手段として非常に有効であることから、今後も引き続き、計画的かつ効率的に取組を実施してまいります。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 03河川費

目 02河川改良費

事務事業番号 08030201

事業名		単独事業（河川整備事業）		担当部署	都市建設部 維持課		
根拠法令		河川法、苫小牧市普通河川管理条例					
令和4年度決算額		237,384	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債	208,600	千円				
	その他		千円				
	一般財源	28,784	千円				
事業費（総計）		262,180	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>			
決算額		237,384	千円				
人件費		24,796	千円				
事業の目的		安全・安心な市民生活を確保するため、河川管理施設の保全や環境整備を実施することにより、老朽化した護岸の改良や水辺に親しめる施設整備を行います。					
事業の内容		<p>1 護岸改良工事 河川の増水時に、隣接する道路などの崩壊を招く恐れがあるため、老朽化した護岸を改良します。</p> <p>2 環境整備工事 水辺に親しめる施設を整備します。</p>					
SDGs17の目標							
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		護岸改良		河川	4	5	4
		環境整備		河川	2	2	3
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				集中豪雨などによる浸水被害などを防止・軽減し、緑豊かな水辺空間を創出するなど、市民の安全・安心な生活に大きく寄与していることから、「4」としました。	
効率性			●			河川等の規模に応じて必要な機能を確保することはもとより、経済的な整備方法を検討して事業展開していることから、「3」としました。	
公平性		●				河川周辺の居住者や利用者などの要望を踏まえ、パトロールを実施し、老朽化等への対策の要否や重要度を判断したうえで事業を展開していることから、「4」としました。	
将来性		●				市民の安全・安心な生活に関わるものであり、機能を維持し続けていく必要があることから、「4」としました。	
総合評価		A		評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できています。 今後も引き続き、護岸整備や河道しゅんせつなどを行い、河川の流下能力を確保するとともに、水辺に親しめる施設整備を行うことで、より一層の安全・安心で身近な河川となるよう整備を進めてまいります。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 03河川費

目 02河川改良費

事務事業番号 08030202

事業名		空港周辺環境対策事業（河川整備事業）		担当部署	都市建設部 維持課						
根拠法令		河川法、苫小牧市普通河川管理条例									
令和4年度決算額	594	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A		
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他	475	千円								
	一般財源	119	千円								
事業費（総計）	1,869	千円									
決算額	594	千円									
人件費	1,275	千円									
事業の目的	カヌーなどの河川利用に配慮し、老朽化した簡易トイレの更新をします。										
事業の内容	第2美々橋カヌーポート及び松美々橋カヌーポートに設置している老朽化した簡易トイレの更新をします。 SDGs17の目標										
					【更新前】 			【更新後】 			
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度				
	簡易トイレの更新			箇所	2	-	-				
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							カヌーをはじめとした河川利用者などに利用されており、周辺環境の改善にも寄与していることから、「4」としました。		
	効率性	●							事業の大半は人件費であり、必要最低限の経費で事業展開しているため、「4」としました。		
	公平性		●						カヌーをはじめとした河川利用者などの要望を踏まえ、更新の必要性を判断したうえで事業を展開していることから、「3」としました。		
将来性	●				河川の適切な利用を将来にわたり継続していく必要があることから、「3」としました。						
総合評価	A				評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できています。 今後も引き続き、カヌー利用者をはじめ、水辺に親しめる環境を継続し続けることで、より一層の適切な河川利用の促進や周辺環境の保全に寄与できるよう事業を進めてまいります。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 01都市計画総務費

事務事業番号 08040101

事業名		地籍調査事業		担当部署	都市建設課 開発管理課		
根拠法令		国土調査法					
令和4年度決算額		4,368	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	2,352	千円				
	地方債		千円				
	その他		千円				
	一般財源	2,016	千円				
事業費（総計）		16,168	千円				
決算額		4,368	千円				
人件費		11,800	千円				
事業の目的		国土調査法に基づき当該地籍調査を効率的に進めるため、先行的に街区境界調査を行い、道路や水路等（以後、長狭物）と接する土地について所有者や地番の調査を行うとともに、その土地と長狭物とが接する部分の境界に関する測量を行い、成果については法務局に送付します。また、地籍調査で得られた成果については、大規模災害から迅速に復旧・復興を図る上で有効に活用されるほか、課税の適正化及び公共事業や土地取引を円滑に進めるためなどに利用されます。					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 小糸井町1丁目の地籍調査（街区境界調査）について、調査結果に基づき各地権者と境界確認を行いました。 その後、成果をまとめ、市役所で成果の閲覧を行いました。特に意義申立てがなかったことから北海道へ認証請求を行っております。</p> <p>2 地籍調査について、市民周知を図るためにパンフレットを作成し、苫小牧市が管理する各施設で配布しているほか、地権者へ事業説明をする時に配布しております。</p>					
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		地籍調査事業（街区境界調査）			小糸井町1丁目地区	小糸井町1丁目地区	小糸井町1丁目地区
					（街区境界調査実施）	（街区境界調査実施）	（既設街区基準点点検）
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				本事業を進めることは、本地区で大規模災害が起こった場合などに事業成果を活用し迅速に復興・復旧を図ることが出来ると考えていることから「4」としました。	
効率性		●				公共基準点を活用するため新たな基準点を設置せずに測量が出来ることや、地権者や町内会へ、パンフレットを活用し直接説明することで地籍調査への理解が高まると考えていることから「4」としました。	
公平性			●			本事業の公平性を確保しつつ、本市の全対象区域を各地区に分け、それぞれの地区の優先する条件を考慮して全体計画を作成し、計画に基づき事業を進めていることから「3」としました。	
将来性		●				1 調査区域におおむね3年程度時間を要することから、全市の調査完了までには莫大な費用と期間が必要となりますが、継続的に地籍調査を進めることで効果が大きくなると考えておりますことから「4」としました。	
総合評価		A		事業の進捗状況についてはおおむね予定通りですが、今後地籍調査を円滑に進めるためには、地権者を含む住民理解が不可欠であることから、パンフレットはもとより、ホームページなどを活用し地域住民などへ周知を図っていきたく考えています。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040201

事業名		オートリゾートセンターハウス・温浴施設等補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令									
令和4年度決算額		15,089	千円	項目評価				総合評価 A	
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他		千円						
	一般財源	15,089	千円						
事業費（総計）		15,089	千円						
決算額		15,089	千円						
人件費		0	千円						
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等に伴う利用料金等の減収分について、補填を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標		指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等における減収分を補填しました。							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度	
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
有効性		●							指定管理者の減収分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから「4」としました。
効率性		●							指定管理者が安定した施設の維持・管理を行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。
公平性		●							施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから「4」としました。
将来性		●				本事業を中止すると、施設の継続的な運営に影響が及ぶことから、「4」としました。			
総合評価		A				新型コロナウイルス感染症のなかで、本事業は指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要であると考えています。			
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040202

事業名		公園施設補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課			
根拠法令								
令和4年度決算額		44	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	44	千円					
事業費（総計）		44	千円					
決算額		44	千円					
人件費		0	千円					
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等に伴う利用料金等の減収分について、補填を行います。						
事業の内容 SDGs17の目標		市民文化公園（サンガーデン）指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理施設の休館等における減収分を補填しました。						
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度
項目評価		高 → 低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				指定管理者の減収分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから「4」としました。		
効率性		●				指定管理者が安定した施設の維持・管理を行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。		
公平性		●				施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから「4」としました。		
将来性		●				本事業を中止すると、施設の継続的な運営に影響が及ぶことから、「4」としました。		
総合評価		A				新型コロナウイルス感染症のなかで、本事業は指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要であると考えています。		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040203

事業名		オートリゾートセンターハウス・温浴施設等電気料金高騰支援補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令											
令和4年度決算額		4,880	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	4,880	千円								
事業費（総計）		4,880	千円								
決算額		4,880	千円								
人件費		0	千円								
事業の目的		原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いていることから指定管理施設の電気料金の不足分について、補填を行います。									
事業の内容 SDGs17の目標		指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いていることから、電気料金の不足分について補填しました。									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							指定管理者の不足分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから「4」としました。		
効率性		●							指定管理者が安定した施設の維持・管理を行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。		
公平性		●							施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから「4」としました。		
将来性		●				本事業を中止すると、施設の継続的な運営に影響が及ぶことから、「4」としました。					
総合評価		A				本事業は指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要であると考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 02公園維持費

事務事業番号 08040204

事業名		公園施設電気料金高騰支援補償金		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令											
令和4年度決算額		1,009	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	1,009	千円								
事業費（総計）		1,009	千円								
決算額		1,009	千円								
人件費		0	千円								
事業の目的		原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いていることから指定管理施設の電気料金の不足分について、補填を行います。									
事業の内容 SDGs17の目標		指定管理者に対して、施設の安定した管理運営を継続させるため、原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げが続いていることから、電気料金の不足分について補填しました。									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							指定管理者の不足分を補填することは、指定管理者が安定した施設の管理運営を行ううえで必要であることから「4」としました。		
効率性		●							指定管理者が安定した施設の維持・管理を行うことで、施設の継続的な運営が可能となることから、「4」としました。		
公平性		●							施設の安定した管理運営を維持していくことは、誰もが安全・安心に施設を利用するために必要であることから「4」としました。		
将来性		●				本事業を中止すると、施設の継続的な運営に影響が及ぶことから、「4」としました。					
総合評価		A				本事業は指定管理者が施設の安定した管理運営に取り組むうえで必要であると考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040301

事業名		社会資本整備総合交付金事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		都市公園法									
令和4年度決算額		173,905	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	81,330	千円								
	地方債	62,200	千円								
	その他		千円								
	一般財源	30,375	千円								
事業費（総計）		186,797	千円								
決算額		173,905	千円								
人件費		12,892	千円	総合評価	A						
事業の目的		潤いと安らぎに満ちた美しい都市空間を創出し、誰もが安全・安心に利用できる公園の整備を進めます。									
事業の内容		社会資本整備総合交付金を活用し、老朽化した施設の更新や園路整備、トイレのバリアフリー化を行いました。									
SDGs17の目標											
		【改修前】		【改修後】							
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		公園再整備数			か所	12	6	8			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されるため、「4」としました。		
効率性		●							公園の再整備には多額の費用を要するが、計画的に実施することでライフサイクルコストの縮減が図られるため、「4」としました。		
公平性		●							市内一円の老朽化が進行している公園から順次、再整備を進めており、地域を限定せずに安全・安心に利用できる公園環境を確保しているため、「4」としました。		
将来性		●				市内の公園は開設から30年以上経過しているものが多く、遊具をはじめとする施設の老朽化が進行していることから、継続した事業実施により、効果が高まるため、「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040302

事業名		単独事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		都市公園法							
令和4年度決算額	79,407	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債	35,300	千円						
	その他	3,440	千円						
	一般財源	40,667	千円						
事業費（総計）	93,731	千円							
決算額	79,407	千円							
人件費	14,324	千円							
事業の目的	公園施設の更新・補修を計画的に行い、誰もが安全・安心に利用できる公園の維持管理を行います。								
事業の内容	公園施設の計画的な更新・補修を行いました。								
SDGs17の目標									
	1 遊具更新								
	2 遊具補修（部材の補修）								
実施結果（活動指標）	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	遊具更新基数		基	12	11	4			
	遊具補修工事		公園	25	35	30			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
有効性	●				公園施設の計画的な更新・補修を行うことは、誰もが安全・安心に公園を利用するためには必要な事業であるため、「4」としました。				
効率性		●			事業費の縮減や平準化を図るため、点検結果に基づき計画的に更新・補修を行っていることから「3」としました。				
公平性	●				施設の更新・補修については、地域の意見を参考にしているため「4」としました。				
将来性	●				本事業については、誰もが安全・安心に公園を利用するために継続して実施していく必要があることから「4」としました。				
総合評価	A		項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、今後老朽化が進む公園施設の増加が見込まれるため、耐用年数の高い製品の使用など、事業費抑制に取り組んでいきたいと考えています。						
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040303

事業名		空港周辺環境対策事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		都市公園法									
令和4年度決算額	21,122	千円	項目評価				総合評価				
財源内訳	国道支出金							千円			
	地方債							千円			
	その他	16,714						千円			
	一般財源	4,408						千円			
事業費（総計）	26,852	千円									
決算額	21,122	千円									
人件費	5,730	千円									
					A						
事業の目的	空港騒音の影響を受ける住民の生活環境等の改善を図ります。										
事業の内容	<p>空港周辺環境対策事業の助成金を活用し、老朽化した遊具等の更新や安全にボール遊びができるようネットフェンスの設置を行い、公園利用者の安全・安心を確保しました。また、空港周辺住民の利便性の向上や活動支援のため、芝刈機を購入しました。</p>										
SDGs17の目標											
	【改修後の遊具】			【芝刈機3台】							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度					
	公園再整備数		か所	2	1	-					
	資器材購入（草刈機、除雪機等）		台	3	4	4					
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							公園の再整備を進めることで、誰もが安全・安心に利用できる公園環境が確保されたこと、また、適正な公園の維持管理を行うためには、資器材が必要であることから、「4」としました。		
	効率性	●							公園の再整備には多額の費用を要するが、計画的に実施することでライフサイクルコストの縮減が図られること、また、計画的に必要な資器材を購入していることから、「4」としました。		
	公平性		●						本事業については、対象地域が限定されていることから、「3」としました。		
将来性	●				本事業の対象地域内の公園は、開設から20年以上経過しているものがあり、遊具をはじめとする施設の老朽化が進行していることから、継続した事業実施により、効果が高まるため、「4」としました。						
総合評価	A			項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、今後の人口減少を踏まえた公園の再編や統廃合を考慮しながら実施していきたいと考えています。							
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 03公園整備費

事務事業番号 08040304

事業名		再編関連訓練移転等交付金事業（公園整備事業）		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令		都市公園法									
令和4年度決算額		27,590	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	26,450	千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	1,140	千円								
事業費（総計）		32,603	千円								
決算額		27,590	千円								
人件費		5,013	千円								
事業の目的		勇払ファミリー公園は区域面積が約1.73haあり、そのうち約1haを土地所有者より借地しています。現状のパークゴルフ場施設の継続的な利用や地域住民の健康増進等を図る目的で用地を取得します。									
事業の内容		再編関連訓練移転等交付金を活用し、約0.5haの用地取得及び4基のベンチを更新しました。									
SDGs17の目標		【取得用地】		【改修後のベンチ】							
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		用地取得面積			ha	0.5	-	-			
		ベンチ改修数			基	4	-	-			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							用地取得及びベンチの更新により、パークゴルフ場施設の継続的な利用や地域住民の健康増進等に効果が得られることから、「4」としました。		
効率性		●							事業実施により、将来にわたってその効果が得られることから、「4」としました。		
公平性			●						本事業については、対象地域が限定されていることから、「3」としました。		
将来性		●				本事業は2か年の事業であり、継続的な事業ではないが、将来的に他の土地利用への転換が防止され、地域住民の健康増進等が継続して図られることから、「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり目的に適った事業を展開でき、地域住民の継続的な公園利用につながる事業になったと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040401

事業名		森林整備事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課					
根拠法令		森林法								
令和4年度決算額	4,628	千円	項目評価				総合評価	A		
財源内訳	国道支出金	1,543	千円							
	地方債		千円							
	その他		千円							
	一般財源	3,085	千円							
事業費（総計）	6,419	千円								
決算額	4,628	千円								
人件費	1,791	千円								
事業の目的	森林の効用であるレクリエーション機能や土砂流出防止など、森林の有する多面的機能を発揮させるため、市有林やその他の民有林の整備と保全を図ります。									
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>1 高丘森林公園修繕工事 園路の階段を改修しました。</p> <p>2 苫小牧市豊かな森づくり推進事業 森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林所有者へ伐採後の造林に対し助成を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【高丘森林公園修繕工事】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【豊かな森づくり推進事業】</p> </div> </div>									
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度				
	高丘森林公園修繕		-	階段	便所・階段	-				
	苫小牧市豊かな森づくり推進事業		ha	11	14	-				
	苫小牧市未来につながる森づくり推進事業		ha	-	-	16				
項目評価	高 → 低			評価の理由						
	4	3	2					1		
	有効性	●								高丘森林公園整備や森林の更新に対する助成の取組は、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させることに寄与しているため、「4」としました。
	効率性		●							森林の利用向上に直接的に繋がるものではないが、本市にある森林の有する多面的機能を発揮させる事業であるため、「3」としました。
	公平性	●								森林の有する多面的機能は市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。
将来性	●				森林は持続可能な資源であり、市民に対して継続して実施していく必要があることから「4」としました。					
総合評価	A			項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、高丘森林公園の認知度や利用を高める取組を実施していきたいと考えています。						
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040402

事業名		緑の基本計画事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課																																
根拠法令		都市緑地法																																			
令和4年度決算額		4,146	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">項目評価</td> <td rowspan="6"> </td> <td rowspan="6"> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国道支出金</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,945</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,201</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（総計）</td> <td>6,569</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">決算額</td> <td>4,146</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">人件費</td> <td>2,423</td> <td>千円</td> </tr> </table>	項目評価			<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A		財源内訳	国道支出金		千円	地方債		千円	その他	1,945	千円	一般財源	2,201	千円	事業費（総計）		6,569	千円	決算額		4,146	千円	人件費		2,423	千円
項目評価			<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>		総合評価				A																												
総合評価																																					
A																																					
財源内訳	国道支出金					千円																															
	地方債					千円																															
	その他			1,945	千円																																
	一般財源	2,201	千円																																		
事業費（総計）		6,569	千円																																		
決算額		4,146	千円																																		
人件費		2,423	千円																																		
事業の目的		緑の保全と緑化を推進するため、市民との協働による緑化や、樹木との触れ合いを通じて木に親しみ、緑への理解を深めてもらいます。																																			
事業の内容 SDGs17の目標  		<ol style="list-style-type: none"> 町内会等緑化推進事業・緑化推進基金活用事業 町内会や緑化活動団体に対して、緑化資材の提供や助成を行いました。 市民植樹祭準備業務 市民参加の植樹祭を開催するにあたり、植樹の準備を行いました。 樹木リサイクル事業 伐採した街路樹を活用し、コースターを制作しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【緑化推進基金活用事業】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【市民植樹祭】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【樹木リサイクル事業】</p>  </div> </div>																																			
実施結果（活動指標）		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度																														
		町内会等緑化推進事業、緑化推進基金活用事業		団体	22	24	15																														
		市民植樹祭準備業務（植樹本数）		本	151	335	中止																														
		樹木リサイクル事業		-	コースター	ベンチ、花台	コースター、机・椅子																														
項目評価		高 → 低		評価の理由																																	
		4	3	2	1																																
有効性		●				花や緑を通じて地域の人との繋がりと本市の環境美化に貢献する取組であり、また、持続可能な樹木の活用を伝える有効的な事業であるため、「4」としました。																															
効率性		●				資材や木材の製材化には費用を要するが、市民参加の活動であり、また木材は持続可能な資源であることから、「4」としました。																															
公平性			●			花や緑で公園や街路を飾ることは、本市の景観美化に貢献する取組であるが、木製品の配布はイベント参加者等に限定されていたことから、「3」としました。																															
将来性		●				市民との協働による緑化活動や、樹木の木材としての活用は持続可能な取組であることから、「4」としました。																															
総合評価		A		項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、市民のニーズを把握することに努めていきたいと考えています。																																	
特記事項																																					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040403

事業名		市有林整備事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課																																		
根拠法令		森林法																																					
令和4年度決算額		4,716	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> <td colspan="4"> </td> <td rowspan="2"> <table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> </table>	項目評価						<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A																										
項目評価						<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A																															
総合評価	A																																						
財源内訳	国道支出金	2,806	千円																																				
	地方債		千円																																				
	その他	1,910	千円																																				
	一般財源		千円																																				
事業費（総計）		5,790	千円																																				
決算額		4,716	千円																																				
人件費		1,074	千円																																				
事業の目的		森林の有する多面的機能を持続的に発揮していくため、市有林の森林経営計画を策定し森林整備を継続的に行います。																																					
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>美沢市有林地拵業務 A=9.56ha</p> <p>森林の保育（野ねずみ駆除） A=55.96ha</p> <p style="text-align: center;">【美沢市有林地拵業務】</p> 																																					
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林の保育（地拵）</td> <td>ha</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>森林の保育（野ねずみ駆除）</td> <td>ha</td> <td>56</td> <td>56</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度	森林の保育（地拵）	ha	10	-	-	森林の保育（野ねずみ駆除）	ha	56	56	54																			
指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度																																			
森林の保育（地拵）	ha	10	-	-																																			
森林の保育（野ねずみ駆除）	ha	56	56	54																																			
項目評価		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">高 → 低</th> <th rowspan="2">評価の理由</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有効性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>市有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を生かせることに寄与しているため、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td>市有林の森林経営計画に基づき行われる事業であるが、森林の経営は長い期間を要することから、「3」としました。</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。</td> </tr> <tr> <td>将来性</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>森林は持続可能な資源であり、継続して実施していく必要があることから、「4」としました。</td> </tr> </tbody> </table>					高 → 低				評価の理由	4	3	2	1	有効性	●				市有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を生かせることに寄与しているため、「4」としました。	効率性		●			市有林の森林経営計画に基づき行われる事業であるが、森林の経営は長い期間を要することから、「3」としました。	公平性	●				森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。	将来性	●				森林は持続可能な資源であり、継続して実施していく必要があることから、「4」としました。
	高 → 低				評価の理由																																		
	4	3	2	1																																			
有効性	●				市有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を生かせることに寄与しているため、「4」としました。																																		
効率性		●			市有林の森林経営計画に基づき行われる事業であるが、森林の経営は長い期間を要することから、「3」としました。																																		
公平性	●				森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。																																		
将来性	●				森林は持続可能な資源であり、継続して実施していく必要があることから、「4」としました。																																		
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に適った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、効率的な作業を検討していきたいと考えています。																																	
特記事項																																							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040404

事業名		緑化推進基金積立金		担当部署	都市建設部 緑地公園課				
根拠法令		苫小牧市緑化推進基金条例							
令和4年度決算額	8,735	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金		千円						
	地方債		千円						
	その他	8,735	千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）	9,809	千円							
決算額	8,735	千円							
人件費	1,074	千円							
事業の目的	本市の緑化を推進する事業等に必要な経費の財源に充てるため、寄附金や市有林の立木売却収入を積み立てます。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <p>令和3年度末基金残高 90,647,957円 令和4年度基金積立金 8,735,137円 令和4年度基金取崩し額 3,847,083円 令和4年度末基金残高 95,536,011円</p>								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	基金の年度末残高		千円	95,536	90,648	78,384			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備や花植え等の環境美化活動の財源に充てており、安全・安心で、美しいまちづくりに寄与していることから、「4」としました。
	効率性	●							寄附金などを効率的に将来の事業に充てることのできるため、「4」としました。
	公平性	●							温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備やまちの環境美化の財源に充てている事業であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。
将来性		●			木材売却と寄附金により成り立っている基金であり、安定的な積立金が見込めないことから、「3」としました。				
総合評価	A			項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、基金の活用については十分に検討していきたいと考えています。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040405

事業名		森林環境譲与税基金積立金		担当部署	都市建設部 緑地公園課																					
根拠法令		森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、苫小牧市森林環境譲与税基金条例																								
令和4年度決算額		43,738	千円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">項目評価</th> <td colspan="4"> </td> <td rowspan="2"> <table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td>A</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	項目評価						<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td>A</td> </tr> </table>	総合評価	A													
項目評価						<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> <td>A</td> </tr> </table>	総合評価	A																		
総合評価	A																									
財源内訳	国道支出金		千円																							
	地方債		千円																							
	その他	6	千円																							
	一般財源	43,732	千円																							
事業費（総計）		44,096	千円																							
決算額		43,738	千円																							
人件費		358	千円																							
事業の目的		森林の整備に関する施策や、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する多面的機能に関する普及啓発など、森林の整備の促進に関する施策の費用に充てることを目的に、譲与される森林環境譲与税を基金に積み立てます。																								
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <table border="1"> <tr> <td>令和3年度末基金残高</td> <td>65,410,659円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度基金積立金</td> <td>43,737,827円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度基金取崩し額</td> <td>16,352,500円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度末基金残高</td> <td>92,795,986円</td> </tr> </table>						令和3年度末基金残高	65,410,659円	令和4年度基金積立金	43,737,827円	令和4年度基金取崩し額	16,352,500円	令和4年度末基金残高	92,795,986円											
令和3年度末基金残高	65,410,659円																									
令和4年度基金積立金	43,737,827円																									
令和4年度基金取崩し額	16,352,500円																									
令和4年度末基金残高	92,795,986円																									
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金の年度末残高</td> <td>千円</td> <td>92,796</td> <td>65,411</td> <td>48,886</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度	基金の年度末残高	千円	92,796	65,411	48,886										
指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度																						
基金の年度末残高	千円	92,796	65,411	48,886																						
項目評価		高 → 低				評価の理由																				
		4	3	2	1																					
有効性		●						温室効果ガスの吸収源になる等の多面的機能を有する森林の整備の推進に活用する基金であることから、「4」としました。																		
効率性		●						譲与金を計画的に将来の事業に充てることのできるため、「4」としました。																		
公平性		●						災害に強い森林への整備に充てていく基金であり、全市民に恩恵のある事業であることから、「4」としました。																		
将来性		●				森林の整備に充てるための基金であり、今後、持続的に森林の恩恵を受けることのできることから、「4」としました。																				
総合評価		A				項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、基金の活用については計画的に実施していきたいと考えています。																				
特記事項																										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040406

事業名		森林経営管理事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課		
根拠法令		森林経営管理法					
令和4年度決算額		16,253	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金		千円				
	地方債		千円				
	その他	16,253	千円				
	一般財源		千円				
事業費（総計）		18,760	千円	総合評価	A		
決算額		16,253	千円				
人件費		2,507	千円				
事業の目的		市が森林所有者から経営管理権を取得した上で、自ら経営管理を行い、又は経営管理実施権を民間事業者に設定する等の措置を講ずることにより、林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図り、もって林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮に資することを目的とします。					
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 森林経営管理意向調査業務 経営管理されていない森林の整備に向け、森林経営管理制度に基づき森林所有者の意向を調査しました。</p> <p>2 林地台帳システム改修業務 森林経営管理制度（森林経営管理法）に基づいて苫小牧市が行う業務の効率化を実現するため、森林経営管理意向調査に関連する計画及び各種データを林地台帳システムにて管理運用できるようシステムを改修しました。</p> <p style="text-align: center;">【森林経営管理意向調査業務】</p>					
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		森林経営管理（意向調査）		ha	11	-	-
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				民有林を整備する取組は、本市にある森林の有する多面的機能を生かせることに寄与しているため、「4」としました。	
効率性			●			今後、森林所有者の意向を確認し森林整備を行っていく事業であり、森林の整備には長い時間を有することから「3」としました。	
公平性		●				森林の有する多面的機能は、市民が平等に恩恵を受けるものであることから、「4」としました。	
将来性		●				森林の有する多面的機能を生かせる為、継続して実施していく必要があることから、「4」としました。	
総合評価		A		項目評価のとおり、おおむね目的に合った事業を展開できていますが、より効果的な事業とするため、他市町村の先行事例を参考に実施していきたいと考えています。			
特記事項							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 04都市計画費

目 04緑化推進費

事務事業番号 08040407

事業名		全国都市緑化北海道フェア事業		担当部署	都市建設部 緑地公園課						
根拠法令											
令和4年度決算額		3,000	千円	項目評価				総合評価 A			
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	3,000	千円								
事業費（総計）		9,769	千円								
決算額		3,000	千円								
人件費		6,769	千円								
事業の目的		令和4年6月開催される第39回全国都市緑化北海道フェアに出光カルチャーパーク・サンガーデンを協賛会場として参加し、「苫小牧」の豊かな緑と自然の魅力を発信します。									
事業の内容 SDGs17の目標		フェア苫小牧実行委員会への補助金 会場に飾る花苗や容器の購入などの費用として、実行委員会に補助金を交付しました。									
		【シンボルストリート】		【出光カルチャーパーク】		【開会式】					
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		実行委員会への補助金			千円	3,000	3,000	-			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							30日間にわたって開催され、34回のイベントを実施し、多くの来場者に喜ばれたことから、「4」としました。		
効率性		●							実行委員のみならず、ボランティアの協力も得ながら長期にわたって無事開催できたことから、「4」としました。		
公平性		●							フェアの来場者が恩恵を受けるだけでなく、フェアを通じ本市を発信できたことから、「4」としました。		
将来性		●				フェアを通じ本市の豊かな緑や自然の魅力を発信できる取組であったことから、「4」としました。					
総合評価		A				項目評価のとおり、目的に適った事業を展開でき、また、市民のみならず市外の来場者をお迎えする準備が進められたと考えています。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 01住宅管理費

事務事業番号 08050101

事業名		集会所電気料金高騰支援補償金		担当部署	都市建設部 住宅課						
根拠法令											
令和4年度決算額		123	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	123	千円								
事業費（総計）		263	千円	総合評価	A						
決算額		123	千円								
人件費		140	千円								
事業の目的		原油価格高騰などの影響による電気料金の大幅な値上げに伴い、不足する額を指定管理者に補填する。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 集会所電気料金高騰支援補償金の支払いを行いました。</p> <p>(1) 青葉大成地区集会所 13,544円 (2) 末広町集会所 32,199円 (3) 明德団地集会所 34,410円 (4) 日新町集会所 43,081円</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							電気料金高騰に対する支援として効果があり「4」とします。		
効率性		●							電気料金値上げ分を直接補償するものであるため「4」とします。		
公平性		●							市営住宅入居者全体が利用する集会所の運営に対する支援であり「4」とします。		
将来性			●			集会所の安定的な運営に資するものであり「3」とします。					
総合評価		A				集会所の運営は安定的に継続できており、本事業の効果は発揮されているものと考えます。今後も引き続き、電気料金等の動向を注視していきます。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050201

事業名		住宅建設事業【継続事業】		担当部署	都市建設部 住宅課						
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法									
令和4年度決算額	1,630,695	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th colspan="2">総合評価</th> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価		A	
総合評価											
A											
財源内訳	国道支出金	707,385	千円								
	地方債	753,900	千円								
	その他	85,405	千円								
	一般財源	84,005	千円								
事業費（総計）	1,643,394	千円									
決算額	1,630,695	千円									
人件費	12,699	千円									
事業の目的	市営住宅の老朽化に伴い、建替え等による住環境の整備が急務となっている中で、少子高齢化の進行や人口減少など社会情勢の変化に配慮しながら、良質で快適な生活を営める住環境を整備します。										
事業の内容 SDGs17の目標	<ol style="list-style-type: none"> 日新団地における新築住宅の建設・既存住宅の解体等 <ol style="list-style-type: none"> 日新団地の7棟目（日新町4丁目11-10、新8号棟5F30戸）が完成し、供用開始するとともに、8棟目（新12号棟5F60戸）の建設に着手しました。 日新町4丁目4-2, 3（計80戸）の解体を行いました。 日新団地における新築及び解体実施設計 <ol style="list-style-type: none"> 令和5年度に着工予定の日新団地新2号棟（3F24戸）の新築実施設計を行いました。 令和5年度に解体予定の日新町4丁目4-1, 4, 5（計100戸）の解体実施設計を行いました。 末広町1丁目12-1の建替えに伴う入居者の移転 仮移転先の住戸修繕及び移転対象世帯への移転補償を行いました。 										
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度					
	建設住宅		戸	30	60	60					
	解体住宅		戸	80	100	0					
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							建替事業の実施は、老朽化住宅の解消と管理戸数の適正化が同時に実現するなど即効性が高く効果的であるため「4」とします。		
	効率性	●							財源として国庫補助や地方債を最大限活用して事業を実施しているため「4」とします。		
	公平性	●							建替え等の計画や、今後の目標管理戸数を「苫小牧市営住宅整備計画」として公表し、市民の理解を得られているため「4」とします。		
将来性	●				将来人口や世帯数推計に基づいた適正管理戸数に向け、建替え等による団地再編を実施しているため「4」とします。						
総合評価	A				建替事業はおおむね計画どおりに進捗しており、老朽化住宅の解消が図られ、国費の効果的活用も図っています。今後の社会情勢の変化を見据えた適正な管理戸数に向け、各事業を着実に実施していきたいと考えています。						
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050202

事業名		住宅改善事業		担当部署	都市建設部 住宅課				
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法							
令和4年度決算額	160,435	千円	項目評価				<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A
総合評価									
A									
財源内訳	国道支出金	65,178	千円						
	地方債	64,900	千円						
	その他	30,357	千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）	172,016	千円							
決算額	160,435	千円							
人件費	11,581	千円							
事業の目的	市営住宅の多くで老朽化が進む中、今後も維持管理していく住宅については、入居者が安全・安心に暮らせるよう、計画的な改善・改修工事を行い、建物の長寿命化を図っていきます。								
事業の内容 SDGs17の目標	<ol style="list-style-type: none"> 高丘市営住宅（6-32-1）外壁改修工事を行いました。（30戸） 青葉町市営住宅（1-4-1）外壁改修工事を行いました。（30戸） 住吉町市営住宅（2-3-6）昇降機設備改修工事を行いました。（30戸） 大成町市営住宅（1-11-1）外壁改修実施設計業務を行いました。（144戸） 								
実施結果 （活動指標）	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	改善・改修住宅		戸	90	156	889			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							今後も維持管理する住宅については、長寿命化計画に基づく改善事業を実施することにより、建物のライフサイクルコスト縮減に効果があるため「4」とします。
	効率性	●							財源として国庫補助や地方債を最大限活用して事業を実施しているため「4」とします。
	公平性	●							建物の長寿命化や安全性確保等の事業計画を「苫小牧市営住宅等長寿命化計画」として公表し、市民の理解を得られているため「4」とします。
将来性		●			今後も維持管理が必要な市営住宅について、長寿命化を図ることで計画的な住宅の更新が可能となるため「3」とします。				
総合評価	A			市営住宅の老朽化が進む一方で、今後も多くの住宅を健全な状態で維持管理していく必要があることから、計画に基づく各事業を着実に実施していきます。					
特記事項									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050203

事業名		熱供給設備等改修事業		担当部署	都市建設部 住宅課					
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法								
令和4年度決算額		8,980	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金		千円							
	地方債		千円							
	その他	8,980	千円							
	一般財源		千円							
事業費（総計）		15,426	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 B </div>						
決算額		8,980	千円							
人件費		6,446	千円							
事業の目的		地域暖房・給湯を採用している市営住宅は、建設からの経過年数によって建物同様、熱供給設備の老朽化も進んでいます。入居者が安全・安心に暮らせるよう、修繕工事を行い、ライフラインの維持に努めていきます。								
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 山手町ボイラープラント設備修繕工事を行いました。 （供給先）山手町市営住宅（2-9-1） 225戸 山手町市営住宅（2-9-4） 40戸</p> <p>2 大成町熱供給施設電動二方弁更新他工事を行いました。 （供給先）大成町市営住宅（1-5-1） 20戸 大成町市営住宅（1-5-2） 20戸 大成町市営住宅（1-14-2） 182戸 大成町市営住宅（1-14-3） 210戸 青葉町市営住宅（1-4-2） 20戸 青葉町市営住宅（1-4-4） 20戸</p>								
実施結果 （活動指標）		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度		
		修繕対象			戸	737	891	633		
項目評価		高 → 低				評価の理由				
		4	3	2	1					
		有効性		●						設備の老朽化度合や不具合の状況を判断しながら実施しており、各住戸へ安定した暖房・給湯を行う効果があるため「3」とします。
		効率性		●						修繕工事により安定した暖房・給湯の供給が可能となるため「3」とします。
		公平性	●							市営住宅の今後の整備方針については「苫小牧市営住宅整備計画」として公表し、市民の理解を得られているため「4」とします。
将来性		●			修繕工事により安定した暖房・給湯の供給が可能となるため「3」とします。					
総合評価		B				項目評価のとおり目的にかなった事業を実施しており、引き続きライフライン維持のために必要となる修繕を実施していきます。				
特記事項										

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 08土木費

項 05市営住宅費

目 02住宅建設費

事務事業番号 08050204

事業名		日新団地熱源改修事業		担当部署	都市建設部 住宅課				
根拠法令		公営住宅法、住宅地区改良法							
令和4年度決算額		185,146	千円	項目評価					
財源内訳	国道支出金	82,626	千円						
	地方債	80,900	千円						
	その他	21,620	千円						
	一般財源		千円						
事業費（総計）		194,457	千円	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>総合評価</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">A</td> </tr> </table>				総合評価	A
総合評価									
A									
決算額		185,146	千円						
人件費		9,311	千円						
事業の目的		日新団地において地域暖房及び給湯を供給している事業者の事業終了に伴い、暖房給湯設備の個別化工事を行います。							
事業の内容 SDGs17の目標		暖房・給湯個別化工事を行いました。（日新町3-2-2外3棟及び日新町集会所）							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度		
		工事件数		戸	82	-	-		
項目評価		高 → 低		評価の理由					
		4	3	2	1				
有効性		●				暖房設備等の改修により、対象住戸を引き続き利用することが可能となるため「4」とします。			
効率性		●				国庫補助や地方債を最大限活用して事業を実施しているため「4」とします。			
公平性			●			対象住戸の入居者への説明会を通じ、改修内容について理解が得られているため「3」とします。			
将来性			●			本事業の実施により、対象住戸を長期にわたり利用することが可能となるため「3」とします。			
総合評価		A		熱供給事業者の事業終了後も対象住戸の居住を可能とするため、本事業を着実に実施していきます。					
特記事項									